

☆マンクスロフトンの赤ちゃんが誕生しました☆



2月22日(水)と23日(木)、マザー牧場で羊の希少品種マンクスロフトンが生まれました。

2月22日(水)に生まれたのはメス。毛色は真っ黒で体重は2.0kg。少し小さめに生まれ、初めのうちはミルクをあまり飲んでいなかったため担当スタッフを心配させましたが、段々と上手にミルクを飲むようになり、足取りもしっかりとしてきました。

2月23日(木)に生まれたのはメスとオスの双子。姉の毛色は真っ黒、弟は少し茶色で、生まれた時の体重はどちらも2.26kgでした。2頭ともスタッフが近くに行くと自ら近寄ってきたり、カメラを間近で向けられても平然と寝ているなど、好奇心旺盛でマイペースな性格の様です。

今回出産したマンクスロフトンのぐり(メス1頭の母)は今回が初めての出産ですが、赤ちゃんがミルクを飲みやすいように腰をかかめるなど母性の強さを感じさせます。ガガ(双子の母)は、昨年に続き2度目、連続で双子の出産となりました。最初の出産時よりも落ち着いた様子で、人間に対しても強くは警戒せず担当スタッフの手伝いも受け入れているようです。

このマンクスロフトンの親子は、“トラクターレイン”に乗って様々な動物に会いに行く「マザーファームツアー」で見ることが出来ます。

◆マンクスロフトンとは◆

マンクス ロフトン Manx Loghtan

偶蹄目：ウシ科 学名：Ovis aries

家畜羊の原種で、イギリスのマン島に生息する茶色い小柄な、体重30~40kgの羊です。

オスの角は普通4本、時には5~6本を持つものもいます。メスの角は2本です。

絶滅の危険もあるとされる希少な品種で、日本でも数少ない施設でしか見ることが出来ません。

マンクスロフトンは、バイキングの言葉で「小さな愛らしい茶色い奴」という意味です。

【リリースに関してのお問合せ先】

発信元：株式会社マザー牧場 〒299-1601 千葉県富津市田倉 940-3

TEL.0439-37-2875 FAX.0439-37-2100

担当：宣伝課 保田・石井・星野・佐藤